

『 全体を通して 』

- ✓ SNS・インターネットの活用の仕方～形になる前から知ってもらう～
 - ・ワークショップなどを商店街だけではなく、新潟市などもっと多くの人に知ってもらう
 - ・「街おこし」というキーワードでメディアを巻き込む
 - ・話題性のあるもの、地域特産物を生かす
- ✓ お金～誰が稼ぎ、誰が利用するのか～
 - ・ボランティアというのではなかなか人が集まらないのでは？
- ✓ 活性化 ⇒ 商業につなげる
 - ・地元ならではの差別化



活性化には**若者**が必要
→アルバイトがあれば増えるのでは・・・

『 若者が増える工夫 』

- アルバイトできる場所があるということが重要なポイント
 - ・何を切り口にしていくのか
 - ・働きたい人(学生)の専門性を生かすことが出来るバイト
- 若者が集まる場所が必要ではないか

働く人のニーズ
↓ どうやって繋ぐのか
働きたい人のニーズ



若者と高齢者を繋ぐには・・・

『 世代間交流の例 』

- 市民向けフィットネス
 - ・豊栄の人以外もくるのでは？
 - ・若年層も来る、年齢差も関係なく集まる
- 世代間シェアハウス
 - 例①・高齢者：料理教える
 - ・学生：料理覚える
 - 例②テーマをもったシェアハウス
 - ・料理好き ・ゴルフ好き etc.
- カフェ
 - ・日中：営業者 → 障害者&高齢者
お客 etc. → 交流の場
 - ・夕方～：営業者 → 学生
夜間 お客 etc. → 勉強&交流の場

学生と高齢者の交流の場
→住まいの場

『 新しいスポーツの開拓 』

- あまり**複雑**なものではないもの
 - ・水鉄砲
 - ・雪合戦
- スポーツで町おこしを全体でできれば・・・